

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2024年2月9日

事業所名 おおとり園(放デイ)

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準となるスペースは有していますが、活動内容や人数に応じてグループや部屋を分けるなど、工夫しながら活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	利用者様2名に対して職員1名を配置しています。また、利用者様の様子や状態に応じて、職員配置の調整を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関の外階段にはスロープを設置しています。また、建物の内部はほぼ段差がない、フラットな作りになっています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	日々の振り返りやミーティングで情報共有をするとともに、改善点についての話し合いを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様からの意見を受け止め、職員間での共有を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	法人のホームページで公開しています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現状、行っていません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	法人内の研修に参加しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	職員間で共有した情報や利用者様の様子、保護者様とのお話を踏まえて、計画の作成を行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	発達検査等のツールは、利用していません。利用者登録カード(アセスメントシート)やサポートシートを活用して、利用者様の状況把握に努めています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	常勤職員が立案し、指導員の意見も参考に決定しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	週ごとにプログラムを変更し、固定化しないよう工夫しています。また、季節や行事を意識した内容を心掛けています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇中は、通常時と開所時間を変更しています。利用時間が異なるため、それぞれに合わせてプログラムの内容を変えています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	個々の目標と集団参加に対する目標を意識して、利用者様に合わせた目標設定を行ったうえで作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	送迎等があり、全職員での打合せはできませんが、ホワイトボード等を活用して情報の共有を行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に振り返りの時間を設けています。情報共有を行うとともに、その記録を残しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援終了後に当日の記録を記入し、支援方法の検討に活用しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談支援事業所実施のモニタリングに参加して、状況の確認や計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	児童発達支援管理責任者または担当職員が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校と直接、または保護者様を通して情報共有を行っています。学校へのお迎え時には、担任の先生から利用者様のご様子を伺っています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアを必要とする方のご利用はありません。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援事業所と情報共有を行っています。必要に応じて、就学前の利用者様の様子を見学させていただいています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	利用者様が小学生のため、該当しません。次年度ご利用される施設への情報共有は行っています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	言語聴覚士や臨床心理士と連携し、助言を受けています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	積極的に交流はしていませんが、公園で地域の子ども達と接する機会がありました。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	案内があれば参加するようにしています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	お迎えの際に当日のご様子をお伝えし、情報共有を行っています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、日々の申し送りや面談の中で、相談にのったり助言を行ったりできるよう努めています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	ご契約時に説明と確認を行っています。

保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があった際にはお話をよく伺い、適切な助言を行えるよう努めています。
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現状は行っていません。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	ご指摘いただいた内容については職員間で共有し、迅速に対応ができるよう心掛けています。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月1回おたよりを発行し、活動の報告を行っています。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	職員間で十分意識し合い、注意しながら取り扱っています。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	写真カードやサイン、見通しメモ等の視覚支援ツールを活用しています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていません。散歩等で外出した際には、積極的に地域の方へ挨拶をしています。
	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	園内に掲示をしています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練は月1回を目安に定期的に行っています。また年2回、通報・消火の訓練も行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年1回、チェックシートを活用して虐待防止の研修を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者様には事前に説明するとともに、個別支援計画に記載してご了承いただいています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者様にアレルギー調査票を記入していただき、対応について確認をしています。職員間で情報共有を行っています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットが起こった際には報告書を作成し、職員会議等で共有し再発防止に努めています。